

(様式1)

# 個別施策評価調書

(平成30年度実績)

主管部	経済部	
関係部		

基本施策	IV-12 つくばの魅力を発信する
個別施策	① 観光の振興
個別施策の方向	自然、歴史、文化や、研究・教育機関など数多くの観光資源を活用することにより、つくばならではの空間とストーリーを創出し、観光地としての向上を図り、グローバルな視点から国内外の誘客の拡大に向けた取組を進める。

決算及び事業費内訳											(単位：千円)		
H27年度	決算	事業費	166,745	人件費	73,460	事業コスト	240,205						
	事業費内訳	国庫支出金	15,000	県支出金	19,800	地方債	0	その他特財	8,966	一般財源	122,979		
H28年度	決算	事業費	143,394	人件費	69,419	事業コスト	212,813						
	事業費内訳	国庫支出金	15,000	県支出金	20,975	地方債	26,700	その他特財	1,358	一般財源	79,361		
H29年度	決算	事業費	91,193	人件費	73,600	事業コスト	164,793						
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	5,740	その他特財	771	一般財源	84,682		
H30年度	決算	事業費	95,211	人件費	68,268	事業コスト	163,479						
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	1,148	一般財源	94,063		

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	28.4%	28.1%	-0.3%
33) 観光の振興			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果 (平成27～29年度実績)		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>既存の観光資源に加えて、文化、芸術、スポーツ、歴史等の新しい視点の観光資源の開発に積極的に取り組まれない。</p> <p>また、インバウンドを狙っているのであれば、外国人観光客に対してどのようなサービスが展開できるのか早急に考え、着手する必要があるのではないかと。</p> <p>観光資源、観光施策に対しては、その成果が経済効果、観光客数等のより見える形で考えられたい。</p> <p>他の事業、部署との有機的な連携を今後さらに進展されたい。</p>	

<b>施策の 取組概要</b>	<p>筑波山梅林内施設の改修工事、森林体験パーク利用促進のための新たな体験コース設計、宝篋山登山コース、駐車場の測量及び山頂水道漏水対策の緊急工事と漏水対策調査を実施する。</p> <p>まつりつくばをはじめ各種イベント、つくばの特性をいかしたサイエンスツアー、市内外での誘客キャンペーン、県インバウンド部会と連携するとともに、つくばコレクション認定制度を活用した市内物産品のブランド化に取り組む。</p> <p>筑波山地域ジオパークについては、ジオパーク学習、ジオガイドのスキルアップ、ジオツアー、ジオパーク認定商品の認定等のアクションプランに基づいた事業に取り組む。</p>
<b>施策の 成果</b>	<p>筑波山については、山頂水道漏水対策の緊急工事を実施したことで、湧水量が減少傾向にある山頂水道の断水事故を防ぐことができた。また、筑波山梅林内の四阿、菱露台の改修工事を行い、景観が向上したことで、来訪者からの好評を得ている。さらに、11事業者13品目のジオパーク認定商品が誕生し、筑波山地域ジオパークのPRにつながったほか、筑波山地域ジオパーク6市議会議員連盟協議会が10月24日に設立され、令和2年のジオパーク再認定審査に向けた体制強化が図られた。</p> <p>つくばコレクションでは、新規3、更新7商品を認証するとともに、JICA草の根協力事業による市内物産品の開発など、販路拡大とブランド化促進につなげることができた。</p> <p>つくばフェスティバルで14万人、スポーツパーク会場を竹園公園に変更したまつりつくばでは46万人の来場者を迎え、観光振興とセンター地区の活性化が図られた。</p> <p>また、英語・中国語の通訳ガイドが同行する外国人向けサイエンスツアーや観光コンベンション協会と連携した外国人留学生向けツアーなどのインバウンド事業を展開したほか、筑波山ウェブカメラによる配信や誘客キャンペーン、ワングーフェス等の新たなイベントの開催により、誘客数は前年から37万人増加し、421万人となった。</p>
<b>課題と 改善目標</b>	<p>山頂水道の湧水量は減少しており、枯渇する恐れがあることから、山頂水道漏水対策調査の結果を踏まえ、山頂水道の安定供給対策工事の実現に向けて関係者との調整を進める。また、老朽化している筑波山観光案内所については、国内外からの観光客の利便性向上のために建替えを進める。</p> <p>市内物産品のブランド化を図るため、つくばコレクションのパッケージ化等の販路拡大方法を検討する。</p> <p>令和2年度の日本ジオパーク再認定審査に向け、認定時にJGCから提示された課題を解決するため、関係自治体、関係機関、地域の方々と連携を図りながら、ジオサイトの保全体制や事務局体制の強化などを進める。</p>

<b>自己評価（所管部署評価）</b>		
<b>自己評価</b>	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。